

平成21年度第9回経営協議会議事要録

日時 平成22年3月19日(金)15時

場所 KKRホテル名古屋 福寿の間

出席 学内委員6名 欠席なし

学外委員6名 欠席なし

会議成立

開会15時

議事に先立ち、学長から挨拶があった後、本学の2010年度入試状況(志願者数)、卒業予定者の就職状況、他機関との協定締結(単位互換、協力協定)、科研費採択率、太陽光発電システムの設置等について説明があった。

これに対して、卒業者の就職状況に関する大学側の見解について質疑があった。

次いで、総務課長から、本日の配付資料の確認及び会議日程等の説明があった。

議 題

1. 平成21年度第8回経営協議会議事要録の承認について

学長から提議され、原案どおりこれを承認した。

2. 第二期中期目標・中期計画の確定について

学長から提議され、資料に基づき、第二期中期目標・中期計画期間における本学の取組事項として、教育の実施体制等の組織整備、附属学校における大学と連携した教育研究、業務運営の取組(学長のリーダーシップ発揮のための仕組み作り等)、事務組織の見直し、施設整備等について説明があった。

これに対して、委員から、教員養成系共同大学院博士課程の設置に関連して、静岡大学と共同することのメリット・デメリット、遠隔操作設備の充実について質疑があった。

大学側からは、2008年度から東海地区4大学と協議してきた経緯、多彩な人材の相互補完ができるなどのメリット、文部科学省が求める養成像等について回答があり、標記案を承認した。

3. 平成22年度国立大学法人愛知教育大学年度計画について

学長から提議され、資料に基づき、教育に関する目標を達成するための措置、研究に関する目標を達成するための措置等について説明があった。

これに対して、委員から学生や教職員の喫煙率、教育組織及び学生入学定員の見直しについて質疑があった。

大学側からは、学生が喫煙しないような環境作りをしていきたいこと、入学定員の見直しについては教員負担を軽減するため学生組織を30人のユニットにすること等について回答があり、標記年度計画を承認した。

4. 給与支給制度の改正について

学長から提議され、折出委員から資料に基づき、地域手当の改正、管理職手当

の改正について説明があった。

これに対して、委員から附属学校長と副校長の手当の支給額の差異について質疑があった。

大学側からは、校長職は大学の教授が兼務していることや週2回の勤務形態であること等について説明があり、標記改正を承認した。

5. 2009年度予算の用途変更について

学長から提議され、折出委員から標記の支出予算のうち人件費である給与費及び法定福利費から300万円を流用し、予備費への用途変更分として計上し、環境整備に有効に使用したい旨の説明があり、標記変更案を承認した。

6. 2009年度愛知教育大学予算（補正案）について

学長から提議され、折出委員から資料に基づき、予算額増減の要因について説明があり、標記補正案を承認した。

なお、本会議以降に補正予算を行う必要が生じた場合は、事後報告とすることを了承した。

7. 2010年度愛知教育大学予算（案）について

学長から提議され、折出委員から標記予算については、教授会において承認済みである旨、説明があった後、資料に基づき、収入予算及び支出予算の総額及び事項別の予算額について説明があった。

これに対して、学生納付金収入の算出方法、ポイント制対応経費、サテライトキャンパス運営費等について質疑応答の後、標記予算案について承認した。

報 告

1. 平成22年度経営協議会の開催予定について

学長から資料に基づき、標記日程について報告があった。

2. 2009年度予算実施計画（目的積立金）について

折出委員から、資料に基づき、標記の執行予定額、最終執行（予定）額の報告があった。

3. 2009年度予備費の用途について

折出委員から、資料に基づき、標記事項は老朽化等への対応であることについて報告があった。

4. 学長補佐の任命について

学長から、次のとおり学長補佐の選考を行った旨の報告があった。

附属学校担当 阿部和俊 教授

博士課程設置担当 都築繁幸 教授

教育組織改革担当 子安 潤 教授

次いで役員の異動について、次のとおり紹介があった。

平成 22 年 3 月 31 日付け

【退職】

佐藤洋一 教育担当理事

【任期満了】

平田 淳 監事

平松義夫 監事

平成 22 年 4 月 1 日付け

【任命】

岩崎公弥 教育担当理事

松井信行 監事

澤崎忠昭 監事

議事終了後、学長から平成 21 年度経営協議会終了にあたり、各委員に対し謝辞が述べられた。

閉会 17 時